



2021年12月24日

各位

上場会社名 大和重工株式会社

代表者 代表取締役社長 田中 宏典
(コード番号 5610 東証2部)

問合せ先 企画管理本部 管理部長 氏原 卓也
(Tel 082-814-2101)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日スタンダード市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

○ 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、流通株式時価総額については基準を充たしておりません。当社は流通株式時価総額に関しては2024年度中の上場維持基準充足を目標に各種取組を進めてまいります。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価 総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の状況 (移行基準日時点)	907 人	4,801 単位	3.91 億円	35.3%
上場維持基準	400 人	2,000 単位	10 億円	25%
計画書に記載の 項目	—	—	○	—

※当社の適合状況は、株式会社東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

○ 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

1. 基本方針

当社における事業法人株主（金融機関含む）の保有する株式につきましては、企業活動における事業基盤の強化や、安定株主の確保を目的としていたことから、これまで当該株式の縮減について特に協議をして参りませんでした。こうした対応が現在の流通株式数と流通株式時価総額の減

少を招き、今般の新市場選択時における上場維持基準適合において、一部不適合となった要因と認識しております。

現時点で上場維持基準を充たしていない項目である「流通株式時価総額」の充足に向けて、『企業価値の向上と流通株式数の増加』を基本方針とし、数値目標を定め、達成に向けて取り組んでまいります。

【数値目標】

項目	数値目標	根拠
流通株式数	11,690 単位	当社株主第 15 位以内の株主が保有する非流通株式（2020 年 12 月末時点）に関して、縮減に取り組む株式数（単位）を、移行基準日時点の流通株式数（単位）に加算し算出
流通株式時価総額	10 億 5 千万円	株式会社東京証券取引所による、「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定」における 2021 年 4 月から 6 月の日々の最終価格の平均値に 110% を乗じた額を基準価格とし、流通株式数の数値目標に乗じた額を算出

2. 課題

「企業価値の向上と流通株式数の増加」については「流通時価総額」の充足に向けた基本方針であると同時に課題でもあると認識しております。今後 3 年間（2024 年度中）で事業法人株主（金融機関含む）が保有する非流通株式の縮減による流通株式の増加を図ってまいります。

また、売上と利益体質の強化を推し進め企業価値の向上＝株価の上昇（+10%）に繋げてまいります。具体的な取り組みは「3. 取り組み」に記載しております。

3. 取り組み

(1) 事業法人株主（金融機関含む）が保有する株式の縮減

当社の事業法人株主（金融機関含む）が保有する株式につきましては、その保有意義について社内ならびに事業法人株主（金融機関含む）との協議を通じ適宜縮減を図り、当社の株主構成における一般個人投資家の比率を高めてまいります。

(2) 企業価値の向上＝株価の上昇

当社は DX（デジタルトランスフォーメーション）を強力に推進し、以下の取り組みにより企業価値の向上を図ってまいります。

① 営業力の強化

当社において競争力の高い製品（産業機械部門では、当社の強みである一貫生産体制を活かした付加価値の高い「定盤」、住宅機器部門では、上質な質感と優れた耐久性や保温性に加え、汚れや菌が付着しにくく清掃し易いといった特徴を持つ「鋳物ホーロー浴槽」）について、オンラインや web による、営業、販売手法の多様化、ツール活用強化などにより、利益の安定確保に繋げてまいります。

②生産性の向上とコスト削減

本社工場で生産している工作機械や船舶用エンジンの大型鋳物部品の生産は、受注先毎の仕様に合わせた製品であるため、自動化が難しい生産形態ですが、社内の改善活動（生産ラインの各工程別に班を編成し、作業の合理化、ムダの排除など、効率改善に向けた活動等）を通じ、リードタイムの短縮を図り、生産性の向上を図ってまいります。

生産コストの低減については、大型鋳物部品の鋳造において、歩留まり（製品重量/鉄溶解重量）の改善を継続的に行っていくとともに、鋳造シミュレーション技術を活用して、鉄の凝固過程を低コストでコントロール出来るように改善することで、品質を維持向上させながら副資材の低コスト化を推進してまいります。

③製品開発の強化

当社の吉田工場で生産している鋳物ホーロー浴槽は、独自に開発してきた乾式ホーロー焼成技術により、高品質な美しいホーロー（ガラスコーティング）を浴槽表面に形成できるのが特徴となっています。その美しさや耐久性、清潔性が評価され、国内の高級ホテルで数多く採用されており、この技術を駆使して、新たに高級旅館や温浴施設をターゲットとしたプレミアムな和風浴槽を商品開発し、新型鋳物ホーロー浴槽「やまと」として今秋発売しました。これにより、陶器風呂や石風呂、木風呂が主流であった和風浴槽に、新たな選択肢として提案し、鋳物ホーロー浴槽の拡販と収益拡大を図ってまいります。

また、コロナ禍でのライフスタイルの変化に着目し、鋳物とホーローの特徴を活かしたアウトドア用品などの開発も推進していく計画です。

当社は上記の取り組みの下、企業価値の向上を図るとともに、当社 web サイトなどにより、当社製品の紹介や社会貢献への取り組みなどを積極的に発信し、一般投資家の皆様に当社の魅力を伝えることで、株価アップを図ってまいります。

以上により、当社は本計画書に掲げた数値目標達成に向けて鋭意注力していく所存です。